

Cisco Webex Meetings/Room55 導入事例

埼玉医科大学国際医療センター 様

専門性特化で「患者中心の医療」を提供 Cisco WebexとRoom55による オンラインコミュニケーション強化を実現

埼玉医科大学国際医療センターは、埼玉県のあるあらゆる診療を担う埼玉医科大学の病院グループにおいて最新のコンセプトで2007年に設立。日本の大学病院では初めてとなる国際的な病院機能評価JCI(Joint Commission International)のアカデミック医療部門を取得するなど世界最高水準の病院作りを目指し、がん、心臓病に対する高度専門医療および、高度の救命救急医療を提供することで地域および日本の医療に貢献しています。今回同センターは、三菱電機システムサービスからCisco Webex MeetingsとWebex Room55を導入。各種のカンファレンスや会議の安心、安全なオンライン開催により、質の高いチーム医療の提供に欠かせないコミュニケーション強化を実現しました。

Contents Index

背景・課題	がんゲノム医療拠点病院指定を受けカンファレンスのリモート開催が必要に
検討～導入	信頼性と安全性から Cisco Webex Meetings を選定 併せて専用端末 Room55 の導入も決断
活用効果	カンファレンスおよび院内会議でフル活用 COVID-19 テレワーク対策にも有効
今後の展開	コミュニケーション強化に加え COVID-19 病棟にも展開

埼玉医科大学国際医療センターでがんゲノム医療を推進する認定遺伝カウンセラーの福島久代氏と、学校法人埼玉医科大学のICTの導入および利活用を推進する情報システム部情報システム課 課長補佐の佐藤巨樹氏のお二方に、お話を伺いました。

背景・課題

がんゲノム医療拠点病院指定を受け カンファレンスのリモート開催が必要に

当センターの特色をご紹介します。

「埼玉医科大学国際医療センターはCOE(Center of Excellence)機能、すなわち専門性に特化した医療の提供を目的に設立されました。埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門医療および、高度の救命救急医療を提供しています。その特色は、理念である徹底した「患者中心主義」を実現させるべく、従来の従来の病院、特に大学病院にありがちな縦割りの診療科ごとの医療ではなく、横のつながりを重視した横断的、包括的な診療体制にあります。従来のように各診療科に患者さんが出向くのではなく、患者さんにプロが集まるというスタイルです。診療科、職域を超えた組織を構成することでコミュニケーションが深まり、互いの尊敬、協調性が生まれます。これが当センターの文化となり、質の高いチーム医療の実現につながっています。」(佐藤氏)

今回のWeb会議ソリューション導入のきっかけは何だったのでしょうか？

「当センターは2018年4月に厚生労働省から「がんゲノム医療連携病院」に指定され、がんゲノム医療中核拠点病院である国立がん研究センター中央病院、慶応大学病院と連携して取り組みを開始しました。さらに2019年9月には「がんゲノム医療拠点病院」の指定を受け、地域の連携病院とともにがんゲノム医療を推進しています。がんゲノム医療は、がんの発生や進行に関係すると考えられている100種類以上の遺伝子を一度に解析する「がん遺伝子パネル検査(がんゲノムプロファイリング検査)」を行い、個々のがんの遺伝子変異の特徴を明らかにし、検出されたがんの遺伝子異常に基づいて治療効果が見込まれる医薬品の有無を検討し、今後の治療方針を決定する目的で行われる「個別化医療」のひとつです。保険診療の「がん遺伝子パネル検査」の結果は、各診断科の医師、および多職種の前専門家で構成されるエキスパートパネルとよばれるカンファレンスで検討し、推奨される治療方針を決定するのですが、その都度集まるのは非効率なため、オンラインによるリモート開催のためのツールが必要となりました。」(福島氏)



埼玉医科大学国際医療センター
がんゲノム医療科 講師
認定遺伝カウンセラー
博士(農学) 福島久代氏



学校法人埼玉医科大学
情報システム部情報システム課
日本医療情報学会認定 医療情報技師
課長補佐 佐藤巨樹氏

User Profile



埼玉医科大学 国際医療センター

所在地: 埼玉県日高市山根1397-1
病院長: 佐伯俊昭
開院: 平成19年4月
病床数: 合計600床
(包括的がんセンター300床/心臓病センター200床/救命救急センター100床)

URL:
<http://www.international.saitama-med.ac.jp/>

検討
導入

信頼性と安全性から Cisco Webex を選定 併せて専用端末 Room55 の導入も決断



数多くのWeb会議ツールが存在する中で、シスコ製品を選定された理由は？

「当院のネットワークはシスコ社製のスイッチなどの機器を数多く利用しています。シスコ製品は故障が少なく、信頼性が高い印象がありました。他のWeb会議ツールとも比較しましたがセキュリティ面での安全性が高いことと、トラブル時の対応面でも国内に法人があるWebexが安心して利用できるということで選定しました。」(佐藤氏)

今回、Web会議ツールとしてのCisco Webex Meetingsに加え、ビデオ会議専用端末のCisco Webex Room55も導入されていますが、その狙いは何だったのでしょうか？

「Webexは連携先の国立がん研究センター中央病院、慶応大学病院でも活用されており、ユーザーとして利用したことがありました。Web会議はパソコンベースの接続ですと音声が聞き取りづらいという声があり、ストレスのない良質なコミュニケーションの実現には専用端末が有効との提案を受け、まずは試してみようとなりました。」(福島氏)

導入のプロセスおよび、その際に苦労された点はございますか？

「シスコから専用端末のデモ機の貸し出しを受け、実際の映像や音声、使用感を確認しました。我々のネットワークのセキュリティ要件が厳しく接続設定に苦労しましたが、新たに光回線を契約することで回避しました。ちょうどその頃、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大が起こり、蜜を避けるリモートでの打ち合わせニーズへの高まりもあって、導入を決定し、2020年4月より利用を開始しました。」(佐藤氏)

活用
効果

カンファレンスおよび院内会議でフル活用 COVID-19 テレワーク対策にも有効

導入後の利用状況はいかがですか？

「月間のオンラインミーティングの開催件数は平均して10件ほど、合計時間は約4か月間で2,700時間を超えています。1ミーティングあたりの平均参加者は13名、中には50名を超えるミーティングもあります。」(佐藤氏)

実際に利用されている効果、利用される方々の反応はいかがでしょう？

「がんゲノム医療のエキスパートパネルは週に1~2回、埼玉医科大学総合医療センターなどと接続して20名ほどが参加します。専用端末であるRoom55は映像も音声もクリアで、カメラやスピーカーが一体型で余計なセッティングも必要ない点が、使いやすいです。また、Room55はHDMI端子でオフラインの端末も接続できるので、電子カルテの画面を共有しながら打ち合わせができる点が効果的です。発言者にカメラが自動で向く話者追跡機能も便利ですね。」(福島氏)

「Webexは当初、エキスパートパネルでの利用が主目的でしたが導入後は院内の診療部長会議や治験関連の打ち合わせなどにも、幅広く活用されています。中でも診療部長会議は毎回50名ほどが参加し、これまでは会議室に集合して開催していましたが、COVID-19対策の蜜を避けるという面からもリモート開催が非常に有効です。50名を超える接続でも大きなトラブルもなく、順調に利用できています。」(佐藤氏)

今後の
展開

コミュニケーション強化に加え COVID-19 病棟にも展開

今後の展開についてはいかがですか？

「既に COVID-19 用の病室に Webex のみが利用できる iPad を導入し、患者さんと医療従事者側が部屋に入らずに会話できる取り組みを試行しています。また、COVID-19 対策で現在、小児病棟で親御さんが面会できなくなっているため、Webex を活用したオンライン面会についても検討を進めています。Webex は医師をはじめとした医療従事者のテレワークや働き方改革へのツールとしても有効だと捉えています。当センターでは従来からスマートデバイスを活用したペーパーレス化を進めてきましたので、会議や打ち合わせをオンラインに移行しやすいのです。そのほかの ICT 活用としては、スタッフ間の連絡端末を従来の PHS から iPhone に切り替えていますので、位置情報を取得しての業務効率化や、蜜を避ける取り組みを進めていきたいと考えています。」(佐藤氏)

最後に、三菱電機システムサービスへの期待をお聞かせください

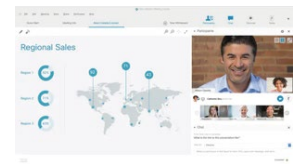
「引き続き、手厚いサポートを期待しています。今後も当センターは、患者中心主義を実現する世界最高水準の病院作りを目指してまいりますので、医療機関に留まらない Webex の有効な活用方法や事例などの情報提供もお願いします。」(佐藤氏)

Cisco Webex Meetings、Cisco Webex Room55は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

三菱電機システムサービスが 導入した製品

Cisco Webex Meetings

インターネットに接続されたPCやスマートフォンで、遠隔地にいる社員や顧客、取引先と、いつでも、どこでも会議ができる、世界で最も利用されているWeb会議システムです。



Cisco Webex Room55

洗練されたデザインのディスプレイ一体型の高品質ビデオ会議端末です。Webex Roomkit相当のコーデックを内蔵し、話者追跡機能、無線 (Wi-Fi)、4K画質の資料共有が利用可能です。



お問合せ先

三菱電機システムサービス株式会社
www.melco.jp

映像情報通信事業推進センター
ネットワークシステム事業推進部
東京都品川区南品川2-3-6第7小池ビル2F
TEL:03-6433-0187